

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより 第2号

令和4年5月31日

行事を通しての学びも大切に！

5月18日(水)から3年生が2泊3日で京都・大阪・奈良へ修学旅行。19日から2年生が1泊2日で横浜方面へ宿泊学習に行っていました。一昨年度は泣く泣く中止。昨年度は延期や変更の連続でした。今年はどうなるか、大きな不安がありましたが無事に実施することができ、2年生も3年生も一人一人が最高の思い出を持ち帰れたことを何よりもうれしく思います。

前日まで6日連続の雨模様で少し肌寒い陽気から一転、日差しもきつくバテバテになるほどの暑さでした。待ちに待った修学旅行や宿泊学習で、体調だけでなく気持ちの面でもテンションも高くなり、はしゃいだり気が大きくなったりすることもあったかと思います。そんな時でも教師に相談したり無理をせず休憩を取ったりしながら、自分の体調やメンタルとしっかり向き合い、最後まで取り組めたということは、これから社会人として生活していく上でもとても大事な学びになったことと思います。

それぞれの旅のテーマに向けて、事前に話し合いを重ね、期待に胸を膨らませて準備に時間をかけてきました。クラスごとで見学したり目的別グループを組んで活動したり寝食を共にしたりすることで、普段の学校生活では見られない友達の様子をいろいろと感ずることがあったことと思います。正直、自分が思い描いていた活動ができなかったことも多くあったのではないのでしょうか。『自分も〇〇したいのに』『もう少し周りのこと考えてよ』『何で好き勝手なことしてるの』『ここは我慢しておくか』『自分の意見ちゃんと言わなきゃ』等々、口に出して話し合いで解決したことや、言葉にできず我慢して堪えたことなど色々な経験をしたことと思います。楽しいこと嬉しいこと、逆に辛いこと嫌だと思うこともたくさんあったと思います。でも、これこそが、行事の醍醐味ではないかと考えます。楽しいこと嬉しいことを皆で共有し倍増させるためにはどうしたらよいか。辛いこと嫌だと思うことを皆で話し合い解決させるにはどうしたらよいか。どちらも正解があるわけではありません。それを考えることが、これから生きていくために必要な力になるのではないかと考えています。

普段の学習や生活で、当たり前のことを当たり前に行うことももちろん重要です。その方がスムーズに気持ちよく活動できるという人もいるかもしれません。でも長い人生、イレギュラーなこと、予定通りにいかないことも多くあろうかと思っています。イレギュラーなこと、普段と違う取り組みに対し、目一杯楽しむもよし。少しずつ慣れるもよし。どう対処対応していくのが、自分らしいのか、なりた

たい自分に近づけるのかを考えられればよいと思います。この後は、1年生も校外学習を計画しています。スポーツフェスティバルや光 toku 祭、駅伝大会等もあります。これまで中止や縮小していた行事が戻りつつあります。行事を通しての学びも大切にしていきたいと考えています。

校長 三宅 健二郎

